



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 石橋 保彦
(コード番号：6249)
問合せ先 総務部長兼IR室長 藪中 潔
(TEL：03-5214-4777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 13 日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,400	百万円 △530	百万円 △530	百万円 △570	円 銭 △39.96
今回発表予想(B)	23,100	△1,400	△1,400	△1,300	△91.15
増減額(B-A)	△2,300	△870	△870	△730	
増減率(%)	△9.1	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	25,741	816	836	293	20.54

修正の理由

当期は、新商品「G∞WIN'Z（ジーウィンズ）」を市場投入し拡販を図ってまいりました。「G∞WIN'Z（ジーウィンズ）」は、当社グループの基幹商品に成長し、平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間の機器の販売台数は前年同四半期を上回りました。しかしながら、パチンコホールの経営環境は厳しさを増しており、新規出店等の案件数は限られていることから、機器の販売台数は当初計画比で減少する見込みとなりました。また、熾烈な価格競争により販売単価も低下しております。以上から、売上高は当初計画を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益が当初計画を下回るほか、平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間において、下記「2. 一部研究開発の中止について」に記載のとおり、一部研究開発の中止にかかる費用も含め大規模な研究開発費が発生し、販管費が増加することから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

2. 一部研究開発の中止について

昨今の遊技業界は遊技参加人口が減少する中、パチンコホールの売上は低迷しており、当社グループが展開するプリペイドカードシステムの分野においては、少ない案件を競い合う厳しい環境が続いております。

そのような中、連結子会社である日本ゲームカード株式会社において、業界の活性化と当社グループの更なる飛躍・企業価値向上に向け、新商品・新サービスの開発をはじめとした研究開発投資を積極的に行ってまいりました。その中で同業他社と差別化を図り、販売競争で勝ち残っていくための施策として、電子マネーサービスを主軸とした「他業種連携サービス」の研究開発を進めてまいりました。しかし、開発開始当初に比較し現在の事業環境は大きく変化してきており、今後益々ローコストオペレーションが求められると想定されることから、あらためて本サービスの収益性・投資回収について検討した結果、計画の継続が困難であると判断し、このサービスにかかる研究開発を中止することといたしました。

この結果、平成28年3月期第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）において、研究開発中止に伴う費用を含め、研究開発費2,777百万円を計上いたしました。

※将来に関する記述等についての注意事項

上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した将来の予想であり、実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上